

2024年7月8日
クニミネ工業株式会社

取締役会の実効性に関する評価結果の概要

当社取締役会は、2024年3月期を評価対象期間として、取締役会の実効性に関する分析・評価を実施しましたので、その評価結果の概要を公表いたします。

1. 評価の実施要領

対象者	2024年3月時点での全取締役（計10名）
実施方法	全取締役を対象とした無記名式アンケート
質問内容	取締役会の構成・取締役会の運営・社外役員に対する情報提供等に関する設問および前回の課題改善状況ならびに自由記載によるアンケート
評価方法	アンケート結果を集計・分析したうえ、取締役会において評価および課題を確認

2. 評価の内容および認識された課題

当社取締役会は、多様な経験、専門性をもつ社外役員を含む取締役が、自身が果たすべき役割を十分に理解して意見を述べ、審議・意思決定を行っていることから、取締役会の役割を適切に果たし、取締役会の実効性は全体として概ね確保されていることを確認しました。

なお、前回課題として認識したさらなる多様性確保に向けた取締役の選任の検討につきましては、改善に向けた検討が図られていることを認識いたしました。また、社外取締役に対する取締役会以外での情報提供の機会につきましては、定期的なランチミーティングの開催により改善が図られた一方で、取締役会における審議事項に関する事前説明等の機会の必要性が指摘され、今後の更なる実効性の向上に向けた課題として認識されました。

3. 今後の対応

当社は、上記の分析・評価を踏まえまして、取締役の多様性につきましては、引き続き各取締役の知識・経験等を一覧化した取締役会の構成表の活用を通じ、知識や経験はもちろんのこと、職歴や年齢を含む多様性の確保に向けた検討を進めてまいります。また、主に社外取締役に対する情報提供の機会の充実を図ることで、取締役会の実効性のさらなる向上を目指してまいります。

さらに、評価方法等の改善については引き続き検討を行うことで、ガバナンス体制の一層の強化を図ってまいります。

以上